



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社くふうカンパニー 上場取引所 東
 コード番号 4399 URL https://kufu.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)堀口 育代
 代表取締役 新野 将司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)菅間 淳 (TEL)03(6264)2323
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	893	△39.4	26	△78.3	21	△82.8	110	△31.8
2020年9月期第1四半期	1,474	116.8	120	304.8	123	307.6	161	—

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 116百万円(△28.2%) 2020年9月期第1四半期 162百万円(—%)
 EBITDA 2021年9月期第1四半期 93百万円(△51.0%) 2020年9月期第1四半期 189百万円(307.3%)
 「EBITDA」は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算出したものです。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	6.10	6.08
2020年9月期第1四半期	9.00	8.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	6,942	4,559	64.2
2020年9月期	6,374	4,431	68.0

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 4,458百万円 2020年9月期 4,336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	6,000	31.9	300	27.3	600	17.6

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名)株式会社アールキューブ

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法の適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年9月期1Q	18,051,361株	2020年9月期1Q	17,951,036株
2021年9月期1Q	2,476株	2020年9月期1Q	2,126株
2021年9月期1Q	18,031,051株	2020年9月期1Q	17,937,109株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8
(1株当たり情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「くふうで生活を賢く・楽しく」を経営理念とし、ユーザーが様々なライフイベントにおいて、より賢く、楽しく意思決定を行えるようメディアとサービスの提供を行っております。さらなる事業規模拡大及び持続的成長により企業価値の向上を図るため、新規事業開発やM&A等も機動的に実施しております。

当第1四半期連結累計期間の業績については、売上高は893,221千円（前年同四半期比39.4%減）、営業利益は26,168千円（前年同四半期比78.3%減）、経常利益は21,183千円（前年同四半期比82.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は110,056千円（前年同四半期比31.8%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」を参照ください。

報告セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

<結婚関連事業>

当事業は、株式会社エニマリによるウェディング総合情報メディア「みんなのウェディング」、会費制結婚式プロデュースサービス「会費婚」や新しい生活様式に合わせた“結婚を祝う新しいカタチ”を提案するサービス「エニマリ」、株式会社フルスロットルズによるインポートブランドを中心としたウェディングドレス販売「DRESS EVERY」等で構成されております。

当第1四半期連結累計期間においては、新しい結婚価値創出の早期実現に向けて、2020年10月1日付で株式会社みんなのウェディングと株式会社アールキューブを合併（株式会社みんなのウェディングを存続会社とする吸収合併）し、株式会社エニマリに商号を変更いたしました。経営リソースを最適化した新たな体制の下、結婚にまつわる様々なシーンを祝う新たなサービスを開発し、「エニマリ」ブランドによる展開に注力しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、「みんなのウェディング」においては前年同四半期比で有料掲載式場数が減少しましたが、結婚式場向けキャンペーン商品の販売が堅調に推移しました。一方、「会費婚」においては開催延期または中止により、施行数は前年同四半期比で大幅に減少しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における結婚関連事業の売上高は463,491千円（前年同四半期比59.7%減）、営業利益は76,342千円（前年同四半期比62.7%減）となりました。

<不動産関連事業>

当事業は、株式会社オウチーノによる住宅・不動産専門メディア「オウチーノ」、株式会社おうちのくふうによる生活者向けの買取再販サービス、株式会社Seven Signatures International による富裕層向けコンサルティングサービス等で構成されております。

当第1四半期連結累計期間においては、「オウチーノ」の物件掲載サービスの解約が発生した一方、不動産会社向け営業支援ツール「オウチーノ くらすマッチ」は継続的な機能追加等により販売が伸長しました。前年同四半期比では、事業整理を行った結果として広告商材にかかる売上高が減少しております。買取再販サービスにおいては、物件の仕入れ及びリフォームにかかる費用が先行して発生しましたが、今後の販売に向けて計画通りに進捗しました。富裕層向けコンサルティングサービスにおいては、渡航規制等による事業活動への影響を受ける中、コスト削減に取り組むとともに、国内外における顧客ニーズに応えた取引案件を獲得しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における不動産関連事業の売上高は215,201千円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益は16,724千円（前年同四半期比33.4%減）となりました。

<金融関連事業>

当事業は、株式会社Zaimによる900万ダウンロードを超えるオンライン家計簿サービス「Zaim」並びにくふう少額短期保険株式会社及び株式会社保険のくふうによる保険サービス等で構成されております。

当第1四半期連結累計期間においては、オンライン家計簿サービス「Zaim」は、有料課金ユーザーを対象に長期的な資産形成・ライフスタイルの変化に寄り添う基盤として、ライフプラン管理ツール等の開発を推進しました。また、

大手企業や官公庁等からのデータ連携ニーズへの対応を強化し、収益が拡大しました。保険サービスはグループ内連携による保険提案に注力しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における金融関連事業の売上高は103,151千円（前年同四半期比57.8%増）、営業利益は7,347千円（前年同四半期は営業損失13,484千円）となりました。

<メディア関連事業>

当事業は、株式会社くらしにくふうによるくらしに関する総合情報メディア「ヨムーノ」及びグループ内外の各メディアの企画・制作・運営支援等で構成されております。

当第1四半期連結累計期間においては、くらしに関する総合情報メディア「ヨムーノ」はユーザー数が増加し、前年同四半期比で広告収入が伸長するとともに、新たな収益源の獲得に向けたコンテンツ強化に取り組みました。また、3歳からのはぐくみメディア「おやこのくふう」やその他のグループ内各メディアのユーザー数拡大に向けた開発に注力しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるメディア関連事業の売上高は80,523千円（前年同四半期比59.4%増）、営業利益は26,171千円（前年同四半期比224.2%増）となりました。

<その他>

その他には主に、株式会社Da Vinci Studioによる当社グループ内外向け技術支援等といった支援機能が含まれません。

当第1四半期連結累計期間におけるその他の売上高は61,448千円（前年同四半期比209.6%増）、営業損失は13,590千円（前年同四半期は営業損失8,698千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は6,942,888千円となり、前連結会計年度末と比較し568,142千円増加しました。これは主に現金及び預金が227,205千円減少した一方で、販売用不動産が688,130千円、繰延税金資産が121,339千円増加したことによるものであります。

負債は2,383,100千円となり、前連結会計年度末と比較し439,435千円増加しました。これは主に短期借入金、1年内返済予定の長期借入金が401,614千円増加したことによるものであります。

純資産は4,559,788千円となり、前連結会計年度末と比較し128,707千円増加しました。これは主に利益剰余金が110,056千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の業績予測につきましては、2020年11月12日に発表いたしました連結業績予測より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,989,186	1,761,980
売掛金	315,166	330,722
商品	61,249	54,381
仕掛品	5,064	2,395
貯蔵品	38	178
販売用不動産	737,050	1,425,181
その他	170,527	207,973
貸倒引当金	△5,452	△6,604
流動資産合計	3,272,830	3,776,209
固定資産		
有形固定資産	119,001	116,355
無形固定資産		
のれん	2,492,601	2,446,304
その他	201,420	211,198
無形固定資産合計	2,694,021	2,657,503
投資その他の資産		
繰延税金資産	116,955	238,294
その他	301,589	282,045
貸倒引当金	△129,652	△127,518
投資その他の資産合計	288,891	392,820
固定資産合計	3,101,915	3,166,679
資産合計	6,374,745	6,942,888
負債の部		
流動負債		
買掛金	52,772	55,819
支払備金	8,926	9,239
責任準備金	2,185	2,046
短期借入金	232,540	547,485
1年内返済予定の長期借入金	194,040	280,710
資産除去債務	600	—
未払法人税等	179,138	168,780
ポイント引当金	2,689	3,863
その他	296,580	312,228
流動負債合計	969,472	1,380,173
固定負債		
社債	—	33,300
長期借入金	937,960	934,510
繰延税金負債	1,921	—
資産除去債務	34,225	34,242
その他	85	874
固定負債合計	974,192	1,002,926
負債合計	1,943,665	2,383,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	75,776	81,899
資本剰余金	4,314,178	4,320,300
利益剰余金	△51,704	58,352
自己株式	△2,322	△2,429
株主資本合計	4,335,929	4,458,122
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	166	799
その他の包括利益累計額合計	166	799
新株予約権	2,163	2,235
非支配株主持分	92,821	98,630
純資産合計	4,431,080	4,559,788
負債純資産合計	6,374,745	6,942,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)
売上高	1,474,474	893,221
売上原価	659,994	342,872
売上総利益	814,479	550,349
販売費及び一般管理費	693,779	524,180
営業利益	120,700	26,168
営業外収益		
受取利息	0	4
為替差益	2,397	—
助成金収入	—	4,729
その他	539	854
営業外収益合計	2,936	5,588
営業外費用		
支払利息	337	3,259
為替差損	—	3,742
支払手数料	—	2,412
その他	0	1,158
営業外費用合計	337	10,572
経常利益	123,299	21,183
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	644
新株予約権戻入益	1	211
特別利益合計	1	856
特別損失		
固定資産除却損	150	441
事務所移転費用	1,470	9,870
特別退職金	—	2,362
特別損失合計	1,620	12,673
税金等調整前四半期純利益	121,679	9,365
法人税、住民税及び事業税	44,864	16,761
法人税等調整額	△85,461	△123,260
法人税等合計	△40,597	△106,499
四半期純利益	162,277	115,865
非支配株主に帰属する四半期純利益	813	5,808
親会社株主に帰属する四半期純利益	161,463	110,056

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	162,277	115,865
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△30	633
その他の包括利益合計	△30	633
四半期包括利益	162,246	116,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,433	110,690
非支配株主に係る四半期包括利益	813	5,808

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法の適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社みんなのウェディングを存続会社、同じく当社の連結子会社であった株式会社アールキューブを消滅会社とする吸収合併を行っております。このため、当第1四半期連結会計期間より株式会社アールキューブは連結の範囲から除外しております。

また、2020年10月1日付で株式会社みんなのウェディングの商号を株式会社エニマリへ変更しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	結婚関連 事業	不動産関連 事業	金融関連 事業	メディア 関連事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	1,149,371	200,517	65,373	50,156	1,465,420	9,054	—	1,474,474
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	352	352	10,791	△11,144	—
計	1,149,371	200,517	65,373	50,509	1,465,773	19,845	△11,144	1,474,474
セグメント利益又は損 失(△)	204,946	25,105	△13,484	8,073	224,640	△8,698	△95,240	120,700

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内外向け技術支援等で発生した売上高及び利益又は損失(△)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益71,050千円及び全社費用△117,392千円、のれんの償却額△48,924千円が含まれております。全社収益は、各事業会社からの業務支援料が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	結婚関連 事業	不動産関連 事業	金融関連 事業	メディア 関連事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	463,491	215,201	102,737	74,491	855,921	28,745	8,554	893,221
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	413	6,032	6,446	32,702	△39,148	—
計	463,491	215,201	103,151	80,523	862,367	61,448	△30,594	893,221
セグメント利益又は損 失(△)	76,342	16,724	7,347	26,171	126,586	△13,590	△86,827	26,168

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内外向け技術支援等で発生した売上高及び利益又は損失(△)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益96,394千円及び全社費用△136,949千円、のれんの償却額△46,296千円が含まれております。全社収益は、各事業会社からの業務支援料が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、従来、「その他」に含まれていた「金融関連事業」「メディア関連事業」については量的な重要性が増したため、独立の報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(企業結合等関係)

(連結子会社の合併)

当社の連結子会社である株式会社みんなのウェディング及び株式会社アールキューブは、2020年10月1日を効力発生日として株式会社みんなのウェディングを存続会社とする吸収合併を行いました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及び当該事業の内容

(吸収合併存続会社)

名称 株式会社みんなのウェディング

事業内容 ウェディングに関する情報提供サービス事業

(吸収合併消滅会社)

名称 株式会社アールキューブ

事業内容 結婚式プロデュース業

② 企業結合日

2020年10月1日

③ 企業結合の法的形式

株式会社みんなのウェディングを存続会社、株式会社アールキューブを消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

株式会社エニマリ (2020年10月1日付で株式会社みんなのウェディングより商号変更)

⑤ その他取引の概要に関する事項

本合併は、両社の強みを活かし、経営の合理化・効率化、コストの削減及び業容拡大を図るものであります。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	9.00円	6.10円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	161,463	110,056
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	161,463	110,056
普通株式の期中平均株式数(株)	17,937,109	18,031,051
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	8.91円	6.08円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	185,363	60,745
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	第8回新株予約権 (普通株式 392,000株)